

コーチングバンク御中

一般社団法人 WIT

代表理事 山本未生

2017年11月27日

一般社団法人 WIT（以下、WIT）にて、3名のコーチの方とコーチングを実施いたしましたことを下記のとおりご報告いたします。

WITについて：WITは2011年に設立された非営利型一般社団法人で、東北の被災地をはじめとする地域で社会課題の解決や新しい市民社会の創造に取り組む社会起業団体を支援してきました。2016年以降は活動地域を東北だけでなく、日本（東京や関西など）やアメリカに広がっています。これまで教育、貧困削減、地域活性化、女性エンパワメント、介護予防などに取り組む18団体に対して、組織基盤強化、ファンドレイジング、多様な人材への紹介等の経営支援を行ってきました。詳細はウェブサイト（<http://worldintohoku.org/>）、フェースブックページ（<https://www.facebook.com/WorldInTohoku/>）もご覧ください。

【セッションA】

実施日：10月18日（水）10-12時

実施場所：文京区民センター内 フミコム 地域連携ステーション

コーチ：

- 島崎湖：CRR Global 認定 Organization & Relationship Systems Certified Coach、国際コーチ連盟 認定 Professional Certified Coach、CTI 認定 Certified Professional Co-Active Coach
- 東嗣了：CRR Global 認定 Organization & Relationship Systems Certified Coach

クライアント：

- 山本未生：WIT 代表理事
- 大谷紗知子：WIT プログラム・コーディネーター

共有セッションの出席者（当日出席できなかったチームメンバーに、セッションの内容を共有しました。）

- 山本未生
- 大谷紗知子
- 青木三紀：WIT 経営チームメンバー
- 小林史恵：WIT 経営チームメンバー
- 吉岡利代：WIT ボード&ガバナンスワークショップ講師・ファシリテーター

費用：5万円分

実施内容と成果：

- システム・コーチング®を使い、WIT内の異なる役割のメンバーが互いへの理解を深め、共通のビジョンをより明確化し、共有するためのセッションを実施しました。具体的には、ランズワークというツールを用い、代表理事とスタッフという役割を、それぞれの立場から言葉・感情・動きなどで表現し、それを互いに経験しあうことを通じて、理解を深めました。セッションの最後に、異なる役割を統合して、組織全体として捉えた時に、理想的なイメージやビジョンを表現しました。
- このコーチングを通じて、普段は目の前のタスクを片付けることに集中しがちな、メンバー間のコミュニケーションが、より感情やエッセンスの面でつながれるようになりました。WITのメンバーは、代表理事が米国ボストン、他の経営チームメンバーが東京を拠点にしているため、遠隔で協働するチームとして、このようなつながりが深められたことは、大変な意義があります。
- また、このコーチングを通じて、あくせくしていない、平和でマインドフルな状態に心を置くことの良さを実感したので、その後のチームミーティングの最初に、1分間の沈黙ですごすことにしています。今後も、コーチの島崎さんと東さんに、定期的にチームの状況をアップデートしていきたいと思えます。

【セッションB】

実施日：9月26日（火）AM10時～11時、10月10日（火）13時半～14時半、10月17日（火）13時～14時、11月10日（金）12時～13時

実施場所：オンライン（Zoom）と対面セッションの組み合わせ

コーチ：

- 中西実和：パーソナルコーチ

クライアント：

- 山本未生：WIT代表理事

費用：5万円分（オンライン1万円×2回+対面1.5万円×2回）

実施内容と成果：

- エグゼクティブコーチングとして、WITの代表理事が個人セッションを約2週間に1回の割合で受けた（現在も継続中）。
- コーチングの主たるテーマは、WITが現在ビジネスモデルや組織構造を見直している中における、代表理事のリーダーシップの変革である。
- コーチングの中では、言葉だけでなく、イメージや感情を多用しており、クライアントの内面的変化を多層的に探求していくことに役立っている。
- 外部からコーチが良い問いかけを投げかけてくれることで、近いステークホルダーとは中々深める時間を持ちにくい、内面的・個人的あるいは団体に関わる事柄を扱うことができ、それが、クライアントの視座の拡張や心の平穏につながっており、WITの組織の活動にも良い影響を及ぼしている。

最後に、コーチングを寄付する貴団体の活動に、改めて感謝の意をお伝えしたいと思います。コーチングの価値はまだまだ日本の非営利団体には知られていないのが現状だと思いますが、社会課題の解決やより良い社会の創造に向けて活動している非営利セクターのリーダーたちにとって、コーチングは、リーダーシップ向上・チームワーク強化・組織基盤強化につながる、大きな可能性を持つ活動だと認識しています。WITとしても、システムコーチングやパーソナルコーチングを支援先の社会起業団体に導入したり、事例を紹介する活動を進めておりますので、コーチングの意義を広めていくための連携が何らかの形でできたらと願っております。

参考までに、WIT 代表の山本が執筆した記事をご紹介します。

- <https://drive.media/posts/16759> 「「聴く技術」が組織の生産性を最大化する～認定 NPO 法人かもものはしプロジェクトの事例から」
- <https://drive.media/posts/17483> 「マインドフルであることが、組織の豊かな関係性や社会的インパクトにつながっていく」